

評

五年 12
回数 筆順 言評評
オン ヒヨウ
クン

成り立ち



「公平」という意味の「平(漢音はヘイ)」と、「言う」という意味の「言」とを組み合わせて作った字。

「公平に言う」という意味の字で、物事の悪い悪いを「公平に論ずる」ことを表した字です。【例批評、論評、品評、評価、評定。

また、「世間の多くの人々の論」の意味にも用いられます。【例評判。

使い方

- ▽人は感情に左右されやすいので、人を批評することはむずかしいと思います。
- ▽作者はわたくしの身内ですから、作品の論評はさしひかえさせていただきます。
- ▽ぼくの町にサーカスがやって来るというので、大変な評判です。

熟語例

- ▽批評(批は良い悪いを比べること。物事の悪い悪いを比べて公平に論ずること。)
- ▽論評(物事の内容について論じ、批評すること。)
- ▽品評(作品や産物などの品質を批評し、優劣を決めること。【例朝顔の品評会で金賞を取りました。])
- ▽評価(物事の価値を批評して決めること。また、その決まった価値のこと。【例人間の真の評価は、その人が死んだ後でないとできない。])
- ▽評判(世間の人々が下す判断。ふつうには、「世間によく知られて、人々の話題になること」の意味に使われます。)
- ▽好評(評判が良いこと。)

貧

五年 11
回数 筆順 ノハ分分貧
オン ヒン・ビン
クン まずしい

成り立ち



「分ける」という意味の「分」と、「お金」の意味の「貝」とを組み合わせて作った字です。

「お金を分ける」という意味の字です。

お金を分けると、お金が少なくなるので、「お金が少ない」こと、「貧しい」という意味を表しました。【例貧乏、貧困、貧窮、貧苦、貧民。

お金にかぎらず、「物が少ない」こと、「物事にとぼしい」ことの意味にも使われます。【例貧血、貧弱。

使い方

- ▽「家貧しくして孝子出づ(出る)」と、昔の人が言いました。貧乏な家の方が一生けんめいに努力するので、人間がみがかれるということだと思います。
- ▽貧困な家の子どもが、かならず体が貧弱であるとはかぎりません。

熟語例

- ▽貧乏(乏は「乏しい」こと。貧しく乏しいこと。お金も物も少ないこと。)
- ▽貧困(貧しくて困ること。貧乏で、生活がとても苦しいことを言います。)
- ▽貧窮(窮は「行きづまる」こと。貧しすぎて生活ができないほどひどく困っていること。)
- ▽清貧(正しく清い心で、しいて富を求めず、貧乏に安んじてくらすこと。)
- ▽貧弱(貧しく弱いこと。身体がやせていていかにも弱弱しく見えること。)
- ▽貧血(血液中の赤血球が少ない状態を言います。顔が青白くて、めまいを起こしやすくなります。)